道路改良工事において、山側斜面表層部の崩落防止を目的とした「法枠工」の比較検討について

企画部　施工企画課
九州技術事務所

【本事例の注意点】

- この工法比較検討の事例は、平成31年2月28日付のNETIS検索データを用いています。
- この工法比較検討の事例は、「キーワード検索」と「工種検索」を用いています。
- その理由は、キーワード検索のみでは、検索漏れが考えられるため、工種分類でも検索を行っています。
- NETIS掲載期間終了技術も工法選定の対象としています。
- なお、本検索はあくまでも例であり、実際の設計におかれましては、各設計者等でより良い工夫をお願いします。

1. 新技術活用における工法選定の作業フローおよび作業内容（案）

作業フローおよび作業内容

１．現場条件の設定

１－１．現場条件の設定
図面、数量及びその他の資料より、現場条件を確認し、工法選定の目的を整理する。
※「従来技術」「キーワード」「一次選定基準」「二次選定基準」の設定を行うため、現場条件の詳細及び工法選定の目的を十分に把握しておく。

２．従来技術の選定

２－１．従来技術の選定
従来技術による工事を想定し、最も妥当と思われる工種を選定する。
※従来技術は、土木工事標準積算基準書や土木工事標準単価に掲載されている技術又は、特殊な条件で良く活用されている技術等から選定する。

３．一次選定

キーワード検索

３－１．キーワードの設定
工法選定の目的に合う技術を幅広く検索可能な「キーワード」を２つ程度設定する（絞り込んだキーワードとすると技術の抽出漏れにつながる恐れあり）。

３－２．一次選定基準の設定
現場の制約条件による絞り込みは行わず、工法選定の目的に合う可能性ある工法を選定できるように設定する。

３－３．キーワードによるＮＥＴＩＳ検索および検索結果の出力
ＮＥＴＩＳホームページにて、キーワード検索を行い出力する。

３－４．一次選定基準に対する評価および選定
キーワードにより検索された工法は、一次選定基準に基づき、技術名称やアブストラクトより、評価および選定を行う。ただし、これにより判定が難しい場合は、ＮＥＴＩＳ掲載情報を確認し、評価および選定を行う。
各キーワードにより、同じ工法を重複して一次選定しているため、一次選定工法集計表により整理し集計を行う。

工種分類検索

３－５．キーワードによる一次選定工法の工種分類を抽出
キーワード検索のＮＥＴＩＳ掲載情報より、工種分類を抽出し整理する。
※キーワードのみでは、検索漏れが考えられるため、工種分類でも検索する。

３－６．工種分類によるＮＥＴＩＳ検索および検索結果の出力
ＮＥＴＩＳホームページにて、工種分類検索を行い出力する。

３－７．一次選定基準に対する評価および選定
工種分類により検索された工法は、一次選定基準に基づき、技術名称やアブストラクトより、評価および選定を行うが、これにより判定が難しい場合は、ＮＥＴＩＳ掲載情報を確認し、評価および選定を行う。
各工種分類により、同じ工法を重複して一次選定しているため、一次選定工法集計表により整理し集計を行う。

作業フローおよび作業内容

３．一次選定

３－８．一次選定工法の集計
一次選定工法の重複を整理し集計を行う。

３－９．一次選定工法一覧表の作成
一次選定工法一覧表は、ＮＥＴＩＳ掲載情報を用いて作成する。

４．二次選定

４－１．二次選定基準の設定
現場条件等より二次選定基準を設定するものとし、条件が複数有る場合は各条件毎に設定する。

４－２．二次選定基準に対する評価および選定
一次選定工法を二次選定基準に基づき、ＮＥＴＩＳ掲載情報および開発会社等へヒアリング等により、評価および選定する。

５．比較検討

５－１．二次選定比較表の作成
二次選定表の作成は、左から「従来技術」「ＮＥＴＩＳ技術」「ＮＥＴＩＳ掲載期間終了技術」の順に配置し、現場条件により変動する事項（経済性、工程、施工性等）や施工実績等は、開発会社等へのヒアリング等により作成し、現場条件に関係なく一定の事項（技術概要、特許、事後評価情報、技術の位置付け（有用な新技術））は、ＮＥＴＩＳ掲載情報より作成する。

６．結論

６－１．結　　論
工法選定における重要事項の抜粋および留意点等を整理し、工法選定の結果をとりまとめる。

2. 工 法 選 定 の 事 例（案）〈法枠工によるのり面表層部の崩壊防止〉

Ⅰ. 工法選定の概要

道路改良工事において、山側斜面表層部の崩落防止を目的とした法枠工の工法抽出を行う。

Ⅱ. 工法選定の作業フローおよび作業内容

1. 現場条件の設定

1－1. 現場条件の設定

依頼時の提出資料（図面、設計報告書）より、法枠工の選定を行うこととし、以下の現場条件を設定した。

① 対象とする工法

・法枠工の技術

② 対象箇所

・砂質土、勾配1：1.0、法面垂直高さ30m

③ 目的

・斜面表層部の崩壊を防止する法面保護工（法枠工）で、施工性、経済性及び品質に優れた技術の選定。

2. 従来技術の選定

2－1. 従来技術の選定

現場条件の設定等より、下記の従来技術を選定した。

① 従来技術の選定

・吹付枠工 ）

② 選定の理由

・土木工事標準積算基準書の吹付枠工の適用が可能な工種のため。 ）

3. 一次選定

キーワード検索

3－1. キーワードの設定

周辺環境との調和を考慮した法枠工に該当する技術を抽出するため、NETIS検索に用いる「キーワード」は下記を設定した。

【キーワード】 ⇒ ［ 法枠 ］, ［ 吹付枠 ］

3－2. 一次選定基準の設定

一次選定では、周辺環境との調和を考慮した法枠工に該当する技術を選定するため、一次選定に用いる「一次選定基準」は下記を設定した。

【一次選定基準】⇒ ［のり面保護（のり面緑化工、構造物工）を目的とした法枠工］

3－3. キーワードによるNETIS検索および検索結果の出力

検索日時 ： H31.2.25

キーワードによるNETIS検索の結果は下記のとおりとなった。

【キーワード検索結果】

1. ［ 法枠 ＝ 169 件］
2. ［ 吹付枠 ＝ 43 件］

例としてP９

3－4. 一次選定基準に対する評価および選定

キーワードによるNETIS検索の結果に対し、一次選定基準に基づき、アブストラクトやNETIS掲載情報より、評価し選定した結果は下記のとおりとなった。

【キーワード検索結果】

1. ［ 法枠 ＝ 23 件］
2. ［ 吹付枠 ＝ 11 件］

キーワードによる一次選定工法において、同じ工法の重複を整理し以下の件数となった。

例としてP１０

整理結果 ⇒ 「 23 」件

検索結果の技術の工種分類を抽出

３－５. キーワードによる一次選定工法の工種分類を抽出

一次選定工法のNETIS掲載情報より、工種分類を抽出し整理した。
※キーワードのみでは、検索漏れが考えられるため、工種分類でも検索した。

【工種分類】		【重複数】
1.	[共通工 － 法面工 － コンクリート法枠工 － 現場吹付法枠工]	＝ 13 件
2.	[共通工 － 法面工 － 植生工 － 厚層基材吹付工]	＝ 2 件
3.	[共通工 － 法面工 － 植生工 － 法枠内吹付工]	＝ 3 件
4.	[共通工 － 法面工 － 地山補強工]	＝ 3 件
5.	[共通工 － 法面工 － コンクリート法枠工 － プレキャスト法枠工]	＝ 4 件
6.	[共通工 － 法面工 － 法面整形工]	＝ 0 件
7.	[共通工 － 法面工 － その他]	＝ 1 件
8.	[河川海岸 － 多自然型護岸工 － その他]	＝ 0 件
9.	[共通工 － かご工 － ふとん篭]	＝ 0 件

左記のうち、重複件数が1件以上を検索の対象とする。なお、工種分類の検索は、掲載期間終了技術が表示されるレベルにて実施する。

３－６. 工種分類によるNETIS検索および検索結果の出力

検索日時 ： H31.2.28

工種分類によるNETIS検索の結果は下記のとおりとなった。

【工種分類】		【件数】
1.	[共通工 － 法面工]	＝ 462 件

例としてＰ１３

３－７．一次選定基準に対する評価および選定

工種分類によるNETIS検索の結果に対し、一次選定基準に基づき、アブストラクトやNETIS掲載情報より、評価し選定した結果は下記のとおりとなった。

【工種分類】　　【件数】
1.［ 共通工　－　法面工 ］　　＝　23 件

工種分類による一次選定工法において、同じ工法の重複を整理し以下の件数となった。

整理結果 ⇒「　23　」件

例としてＰ１４

３－８．一次選定工法の集計

キーワードによる一次選定の結果、以下の件数となった。

選定結果 ⇒「　23　」件

例としてＰ１４

工種分類による一次選定の結果、以下の件数となった。

選定結果 ⇒「　24　」件

例としてＰ１５

「キーワード検索」と「工種分類検索」の重複整理の結果、以下の件数となった。

集　　計 ⇒「　24　」件

例としてＰ１６

３－９．一次選定工法一覧表の作成

一次選定工法「　24　」件の一覧表を作成した。

例としてＰ１７

4. 二次選定

4－1. 二次選定基準の設定

現場条件等より、下記の二次選定基準を設定した。

【二次選定基準】

① 斜面表層部の崩壊の防止を目的とした技術

② 砂質土、勾配1:1.0、法面垂直高さ30mに適応可能な技術

③ 技術提供地域等（九州地方整備局管内）

4－2. 二次選定基準に対する評価および選定

一次選定工法に対し、二次選定基準に基づき、NETIS掲載情報および開発会社等へヒアリングを行い、評価し選定した結果は下記のとおりとなった。

二次選定の結果 ⇒「 14 」件

1. ○○○○
2. △△△△
3. □□□□
4. ▽▽▽▽
5. ◇◇◇◇
6. ●●●●
7. ▲▲▲▲
8. ■■■■
9. ▼▼▼▼
10. ◆◆◆◆
11. ○○●●
12. △△▲▲
13. □□■■
14. ▽▽▼▼

例としてP18

5. 比較検討

5－1. 二次選定比較表の作成

NETIS掲載情報およびヒアリング結果より、二次選定比較表の作成を行った。

例としてP19

6. 結論

6－1. 結　論

工法比較検討の結果について、取りまとめを行った。

例としてP20

◆キーワードによるNETIS検索および検索結果の出力

3-3、3-4. キーワード検索による一次選定基準に対する評価および選定

【 一次選定基準 】 ［ のり面保護（法面緑化工、構造物工）を目的とした法枠工］

［ 作業方法 ］
※技術名称、アブストラクトより、評価および選定する。これにより判定できない場合は、NETIS掲載情報にて確認する。

【 凡　例 】
一次選定　：　選定技術
理　　由　：　未選定技術
（未選定の理由記入）

検索条件

・検索の範囲　：　全文検索
・検索対象　：　評価情報　申請情報
・キーワード入力　：　法枠

169件検索されました

	技術名称(登録番号)	事前審査	試行実証評価	活用効果評価	技術の位置付け	判　定
1	……。				掲載期間終了技術	
2	……。				掲載期間終了技術	
3	……。				掲載期間終了技術	
4	……。			有	[H29評価促進] [活用促進] 掲載期間終了技術	
5	……。				掲載期間終了技術	
6	……。				掲載期間終了技術	
7	……。				掲載期間終了技術	
8	……。			有	掲載期間終了技術	
9	……。				掲載期間終了技術	
10	……。			有	[H30評価促進] [活用促進] 掲載期間終了技術	
11	……。				掲載期間終了技術	
12	……。				掲載期間終了技術	
13	……。				掲載期間終了技術	
14	……。			有		
15	……。					
16	……。					

例

◆一次選定基準に対する評価および選定

3-3、3-4. キーワード検索による一次選定基準に対する評価および選定

【 一次選定基準 】 ［ のり面保護（法面緑化工、構造物工）を目的とした法枠工］

［ 作業方法 ］
※技術名称、アブストラクトより、評価および選定する。これにより判定できない場合は、NETIS掲載情報にて確認する。

【 凡　例 】
一次選定　：　選定技術
理　　由　：　未選定技術
（未選定の理由記入）

検索条件

・検索の範囲　：　全文検索
・検索対象　：　評価情報　申請情報
・キーワード入力　：　法枠

169件検索されました

	技術名称(登録番号)	事前審査	試行実証評価	活用効果評価	技術の位置付け	判　定
1	……。				掲載期間終了技術	護岸
2	……。				掲載期間終了技術	護岸
3	……。				掲載期間終了技術	護岸
4	……。			有	[H29評価促進] [活用促進] 掲載期間終了技術	落石防止柵
5	……。				掲載期間終了技術	地山補強工
6	……。				掲載期間終了技術	耐震補強
7	……。				掲載期間終了技術	護岸
8	……。			有	掲載期間終了技術	モルタル吹付け技術
9	……。				掲載期間終了技術	落石防止柵
10	……。			有	[H30評価促進] [活用促進] 掲載期間終了技術	一次選定
11	……。				掲載期間終了技術	型枠
12	……。				掲載期間終了技術	沈床工
13	……。				掲載期間終了技術	張ブロック
14	……。			有		落石防止柵
15	……。					緊張具
16	……。					一次選定

例

◆一次選定工法の集計

キーワード毎に選定した結果、同じ工法が重複しているため、整理し集計を行った。

3-4　一次選定工法の重複整理（キーワード検索）

キーワード検索（例）

番号	キーワード		
	法枠	吹付枠	
1	AAAAA工法（OO-OOOOOO-VE）	AAAAA工法（OO-OOOOOO-VE）	
2	BBBBB工法（OO-OOOOOO-VE）	BBBBB工法（OO-OOOOOO-VE）	
3	CCCCC工法（OO-OOOOOO-V）	CCCCC工法（OO-OOOOOO-V）	
4	DDDDD工法（OO-OOOOOO-VE）	DDDDD工法（OO-OOOOOO-VE）	
5	EEEEE工法（OO-OOOOOO-V）	EEEEE工法（OO-OOOOOO-V）	
6	FFFFF工法（OO-OOOOOO-V）	FFFFF工法（OO-OOOOOO-V）	
7	GGGGG工法（OO-OOOOOO-VE）	GGGGG工法（OO-OOOOOO-VE）	
8	HHHHH工法（OO-OOOOOO-VE）	HHHHH工法（OO-OOOOOO-VE）	
9	IIIII工法（OO-OOOOOO-V）	IIIII工法（OO-OOOOOO-V）	
10	JJJJJ工法（OO-OOOOOO-VE）	JJJJJ工法（OO-OOOOOO-VE）	
11	KKKKK工法（OO-OOOOOO-VE）	KKKKK工法（OO-OOOOOO-VE）	
12	LLLLL工法（OO-OOOOOO-VR）		
13	MMMMM工法（OO-OOOOOO-VR）		
14	NNNNN工法（OO-OOOOOO-VE）		
15			
19			
20	VVVVV工法（OO-OOOOOO-VG）		
21	XXXXX工法（OO-OOOOOO-VE）		
22	YYYYY工法（OO-OOOOOO-AG）		
23	ZZZZZ工法（OO-OOOOOO-VG）		
計	23	11	
重複	―	11	

工法数合計（のべ）　34　―　工法重複数合計　11　＝　工法数　23　件

例

◆工種分類の集計

工法は違っても、同じ工種分類が重複して登録されているため、整理し集計を行う

凡例　重複している工種分類

3-5. キーワードによる一次選定工法の工種分類抽出

番号	○○○工法	○○○工法	○○○工法	○○○工法
1	○○－○○－○○－○○	○○－○○－○○－○○	○○－○○－○○－○○	○○－○○－○○－○○
2	○○－○○－○○－○×	○○－××－○×		○○－○○－××
3	○○－○○－○○－××	○○－××－××		
4				
5				
	○○○工法	○○○工法	○○○工法	○○○工法
1	○○－○○－○○－○○	○○－○○－○○－○○	○○－○○－○○－○○	○○－○○－○○－○○
2	○○－○○－○○－○×	○○－△△	○○－○○－○○－○×	
3				
4				
5				
	○○○工法	○○○工法	○○○工法	○○○工法
1	○○－○○－○○－○○	○○－○○－○○－○○	○○－○○－××－××	○○－○○－○○－○○
2	○○－○○－○○－○×	○○－○○－△△－××		○○－○○－○○－○×
3	○○－△×			○○－○○－○○－××
4	○○－○○－○×			
5				
計	22			
重複	14			
工種分類	9			

工種分類合計(のべ)　35　－　工種分類重複合計　26　＝　工種分類数　9　件

例

◆工種分類によるNETIS検索および検索結果の出力

3-6、3-7. 工種分類検索による一次選定基準に対する評価および選定

【 一次選定基準 】 ［ のり面保護（法面緑化工、構造物工）を目的とした法枠工 ］

［ 作業方法 ］
※技術名称、アブストラクトより、評価および選定する。これにより判定できない場合は、NETIS掲載情報にて確認する。

【 凡　例 】
一次選定　：　選定技術
理　　由　：　未選定技術
（未選定の理由記入）

検索条件

・検索対象　：　評価情報　申請情報
・技術の区分　：　工法　材料　機械　製品　システム
・工種分類の選択－単一分類　：　共通工－法面工

462件検索されました

	技術名称(登録番号)	事前審査	試行実証評価	活用効果評価	技術の位置付け	判　定
1	……。			有	掲載期間終了技術	
2	……。				掲載期間終了技術	
3	……。				掲載期間終了技術	
4	……。			有	掲載期間終了技術	
5	……。					
6	……。					
7	……。				掲載期間終了技術	
8	……。				掲載期間終了技術	
9	……。				掲載期間終了技術	
10	……。				掲載期間終了技術	
11	……。				［設計比較］掲載期間終了技術	
12	……。					
13	……。			有		
14	……。			有	掲載期間終了技術	
15	……。				掲載期間終了技術	
16	……。				掲載期間終了技術	

例

◆一次選定基準に対する評価および選定

3-6、3-7. 工種分類検索による一次選定基準に対する評価および選定

【一次選定基準】［のり面保護（法面緑化工、構造物工）を目的とした法枠工］

［作業方法］
※技術名称、アブストラクトより、評価および選定する。これにより判定できない場合は、NETIS掲載情報にて確認する。

【凡　例】
一次選定　：　選定技術
理　　由　：　未選定技術
（未選定の理由記入）

検索条件

・検索対象　：　評価情報　申請情報
・技術の区分　：　工法　材料　機械　製品　システム
・工種分類の選択－単一分類　：　共通工－法面工

462件検索されました

	技術名称(登録番号)	事前審査	試行実証評価	活用効果評価	技術の位置付け	判　定
1	……。			有	掲載期間終了技術	植生マット
2	……。				掲載期間終了技術	落石防止
3	……。				掲載期間終了技術	護岸
4	……。			有	掲載期間終了技術	地山補強工
5	……。					護岸
6	……。					一次選定
7	……。				掲載期間終了技術	受圧板
8	……。				掲載期間終了技術	植生マット
9	……。				掲載期間終了技術	落石防護柵
10	……。				掲載期間終了技術	受圧板
11	……。				［設計比較］掲載期間終了技術	一次選定
12	……。					一次選定
13	……。			有		植生基材吹付
14	……。			有	掲載期間終了技術	植生基材吹付
15	……。				掲載期間終了技術	コンクリート吹付
16	……。				掲載期間終了技術	鉄筋挿入工

例

◆工種分類の重複整理

一次選定工法が重複しているため、整理し集計を行う

凡例　重複している工種分類

3-7.一次選定工法の重複整理（工種分類検索）

工　種　分　類					
①	共通工 － 法面工				
1	AAA工法	1	KKK工法	1	UUU工法
2	BBB工法	2	LLL工法	2	VVV工法
3	CCC工法	3	MMM工法	3	WWW工法
4	DDD工法	4	NNN工法	4	
5	EEE工法	5	OOO工法	5	
6	FFF工法	6	PPP工法	6	
7	GGG工法	7	QQQ工法	7	
8	HHH工法	8	RRR工法	8	
9	I I I工法	9	SSS工法	9	
10	J J J工法	10	TTT工法	10	
計	10	計	10	計	3
重複	—	重複	—	重複	—

工法数合計（のべ）　24　－　工法重複数合計　0　＝　工法数　24　件

例

◆一次選定工法の集計（キーワード・工種分類の重複整理およびNETIS掲載期間終了技術）

凡例　重複して選定した工法

①	キーワード検索	②	工種分類検索				
1	AAAAA工法（OO-OOOOOO-VE）	1	AAAAA工法（OO-OOOOOO-VE）				
2	BBBBB工法（OO-OOOOOO-VG）	2	BBBBB工法（OO-OOOOOO-VG）				
3	CCCCC工法（OO-OOOOOO-V）	3	CCCCC工法（OO-OOOOOO-V）				
4	DDDDD工法（OO-OOOOOO-VG）	4	DDDDD工法（OO-OOOOOO-VG）				
5	EEEEE工法（OO-OOOOOO-AG）	5	EEEEE工法（OO-OOOOOO-AG）				
6	FFFFF工法（OO-OOOOOO-V）	6	FFFFF工法（OO-OOOOOO-V）				
7	GGGGG工法（OO-OOOOOO-VE）	7	HHHHH工法（OO-OOOOOO-VE）				
23	IIIII工法（OO-OOOOOO-A）	22	IIIII工法（OO-OOOOOO-A）				
24		23	JJJJJ工法（OO-OOOOOO-VG）				
計	23	計	24				
重複	―	重複	23				

工法数合計（のべ）　47　－　工法重複数合計　23　＝　工法数　24　件

例

◆一次選定工法一覧表の作成

3-9. 一次選定工法一覧表

番号	技術名称	登録番号	技術副題	技術概要	備　考
1	AAAAA工法	○○-○○○○○○-VG	…… …… ……	…… …… ……。	
2	BBBBB工法	○○-○○○○○○-VE	…… …… ……	…… …… ……。	
3	CCCCC工法	○○-○○○○○○-VG	…… …… ……	…… …… ……。	
4	DDDDD工法	○○-○○○○○○-A	…… …… ……	…… …… ……。	
5	EEEEE工法	○○-○○○○○○-VG	…… …… ……	…… …… ……。	
6	FFFFF工法	○○-○○○○○○-V	…… …… ……	…… …… ……。	

例

◆二次選定基準に対する評価および選定

4. 二次選定表

4-1、4-2. 二次選定基準の設定による評価および選定

① 斜面表層部の崩壊の防止を目的とした技術
② 砂質土、勾配1:1.0、法面垂直高さ30mに適応可能な技術
③ 技術提供地域等(九州地方整備局管内)

番号	技術名称	登録番号	技術副題	技術概要	二次選定基準評価結果	二次選定	選定理由	備考
1	AAAAA工法	○○-○○○○○○-VE	……。	……。	① 斜面表層部の崩壊の防止を目的とした技術 → ○ ② 砂質土、勾配1:1.0、法面垂直高さ30mに適応可能な技術 → ○ ③ 技術提供地域等(九州地方整備局管内) → ○	○	全ての条件に適合する	[活用促進]
2	BBBBB工法	○○-○○○○○○-V	……。	……。	① 斜面表層部の崩壊の防止を目的とした技術 → × ② 砂質土、勾配1:1.0、法面垂直高さ30mに適応可能な技術 → ○ ③ 技術提供地域等(九州地方整備局管内) → ○	×	法面の浸食防止を目的とする技術のため選定しない	[設計比較]
3	CCCCC工法	○○-○○○○○○-A	……。	……。	① 斜面表層部の崩壊の防止を目的とした技術 → ○ ② 砂質土、勾配1:1.0、法面垂直高さ30mに適応可能な技術 → ○ ③ 技術提供地域等(九州地方整備局管内) → ○	○	全ての条件に適合する	
4	DDDDD工法	○○-○○○○○○-A	……。	……。	① 斜面表層部の崩壊の防止を目的とした技術 → ○ ② 砂質土、勾配1:1.0、法面垂直高さ30mに適応可能な技術 → ○ ③ 技術提供地域等(九州地方整備局管内) → ○	○	全ての条件に適合する	
5	FFFFF工法	○○-○○○○○○-VG	……。	……。	① 斜面表層部の崩壊の防止を目的とした技術 → ○ ② 砂質土、勾配1:1.0、法面垂直高さ30mに適応可能な技術 → ○ ③ 技術提供地域等(九州地方整備局管内) → ○	○	全ての条件に適合する	[H30準推奨] [活用促進]
6	GGGGG工法	○○-○○○○○○-VG	……。	……。	① 斜面表層部の崩壊の防止を目的とした技術 → ○ ② 砂質土、勾配1:1.0、法面垂直高さ30mに適応可能な技術 → ○ ③ 技術提供地域等(九州地方整備局管内) → ○	○	全ての条件に適合する	

例

◆二次選定比較表の作成

※ 開発者等に単価等をヒアリングし、比較表を作成

5-1. 二次選定比較表の作成

工法名		従来技術(現場吹付法枠工)	AAAAA工法	BBBBB工法	CCCCC工法
登録番号		－	○○-○○○○○○-A	○○-○○○○○○-V	NETIS掲載期間終了技術
開発会社		－	□□□□会社	△△△△会社	○○○○会社
技術概要		長大な法面、整形困難な凹凸斜面、節理や亀裂のある岩盤及び整形後早期に保護する必要がある法面において、用いられる法面保護工である。	……。	……。	……。
特徴（長所・短所）		従来技術は現場条件を考慮し設定	ヒアリング等により作成		
概算工事費	施工費				
	材料費				
	特許料				
	合計				
	工事費				
概算施工日数					
経済性		従来技術であるため基準とする	向上 ○%	向上 ○%	向上 ○%
工程			短縮 ○%	短縮 ○%	短縮 ○%
品質・出来形			向上	向上	向上
安全性			向上	向上	向上
施工性	特殊機械		有	有	有
	施工性		向上	向上	向上
環境（景観性）			向上	向上	向上
開発地域（地整）※開発会社の本社所在地とする					
留意事項					
施工実績（過去3年程度）	国土交通省	全国 0 件 (うち九州 0 件)	全国 0 件 (うち九州 0 件)	全国 0 件 (うち九州 0 件)	全国 0 件 (うち九州 0 件)
	地方自治体	全国 0 件 (うち九州 0 件)	全国 0 件 (うち九州 0 件)	全国 0 件 (うち九州 0 件)	全国 0 件 (うち九州 0 件)
	その他	全国 0 件 (うち九州 0 件)	全国 0 件 (うち九州 0 件)	全国 0 件 (うち九州 0 件)	全国 0 件 (うち九州 0 件)
特許等	特許	－	－	－	－
	特許使用料	－	－	－	－
	実施権設定	－	－	－	－
備考					

例

◆結　論

※二次選定比較表より、工法選定の重要事項の抜粋および留意点等を整理し、工法選定の結果をとりまとめる。

現場条件に該当する技術は、○技術が選定された。
以下、工法選定の重要事項について、二次選定表より抜粋した。
また、NETISより活用効果評価結果を別資料として添付する。

例

工法名		○○○○	△△△△	□□□□	●●●●	▲▲▲▲	××××	■■■■
登録番号		○○－××××－◎	○○－××××－◎	○○－××××－◎	○○－××××－◎	○○－××××－◎	○○－××××－◎	NETIS掲載期間終了技術
技術の位置付け（有用な新技術）		［推奨技術］	［設計比較対象技術］					
概算工事費		○○、○○○円/m²	△△、△△△円/m²	□□、□□□円/m²	●●、●●●円/m²	▲▲、▲▲▲円/m²	××、×××円/m²	■■、■■■円/m²
概算施工日数		○○m²/日	△△m²/日	□□m²/日	●●m²/日	▲▲m²/日	××m²/日	■■m²/日
施工実績（過去3年程度）	国土交通省	全国 ○○ 件（九州 ○○ 件）	全国 ○○ 件（九州 ○○ 件）	全国 ○○ 件（九州 ○○ 件）	全国 ○○ 件（九州 ○○ 件）	全国 ○○ 件（九州 ○○ 件）	全国 ○○ 件（九州 ○○ 件）	全国 ○○ 件（九州 ○○ 件）
	地方自治体	全国 ○○ 件（九州 ○○ 件）	全国 ○○ 件（九州 ○○ 件）	全国 ○○ 件（九州 ○○ 件）	全国 ○○ 件（九州 ○○ 件）	全国 ○○ 件（九州 ○○ 件）	全国 ○○ 件（九州 ○○ 件）	全国 ○○ 件（九州 ○○ 件）
	その他	全国 ○○ 件（九州 ○○ 件）	全国 ○○ 件（九州 ○○ 件）	全国 ○○ 件（九州 ○○ 件）	全国 ○○ 件（九州 ○○ 件）	全国 ○○ 件（九州 ○○ 件）	全国 ○○ 件（九州 ○○ 件）	全国 ○○ 件（九州 ○○ 件）
留意事項			材料の注文から納品まで、2箇月程度必要		○○有資格者による施工		○○有資格者による施工	

工法選定の留意点

① 上表の概算工事費及び概算施工日数は、施工規模○○m²以上の場合とする。なお、工事費は概算であり、実際の積算には使用できない。

②『△△△△』の材料は受注生産となり、注文から納品まで2箇月程度必要となる。

③『●●●●および××××』については、○○資格者による特殊な施工となり、施工業者に制限がある。